

後期基本計画基本施策別一覧表

<b>基本施策24 文化・芸術活動の推進</b>	<b>めざす まちの姿</b>	郷土の歴史・文化を学び、地域との結びつきや価値を見出すことで、ふるさとへの誇りと愛着を持つとともに、国際交流による異文化への理解を深め、伝統と豊かな文化に息づいたまちをめざします。
--------------------------	---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

現状	課題	個別施策の方向性 【(★)は総合戦略に関連する取組】	主な取組	主な取組に対する具体的内容の例示	
<p>◇本市は、播磨国風土記にも記されているように長い歴史を有し、御形神社などの歴史的建造物や貴重な史跡、干町岩塊流などの天然記念物も数多く残されており、地域にはチャンチャコ踊りや獅子舞、伝統的な祭りなどの民俗芸能や伝統行事が伝えられています。</p> <p>◇郷土の歴史や伝統文化に対する理解と関心を高めるため、宍粟学講座を開催しているとともに、県との協力により千種のたたら製鉄に関するフォーラムを開催しています。</p> <p>◇市民の自主的な文化芸術活動の促進を目的として宍粟市文化協会への支援、芸術文化奨励金の支給などを実施しています。</p> <p>◇外国人市民同士の交流や市民と外国人との交流など多様な交流機会として、お茶々とルームや日本語教室、国際ふれあいまつりなど、国際交流協会の活動支援を行っています。</p>	<p><b>市民が郷土の歴史や伝統文化への理解と関心を高め、文化財や伝統文化を後世に継承していくことが重要</b></p>	<p>①<b>歴史と文化資源の保全・活用</b> 市民の郷土の歴史や伝統文化への理解と関心を深めるため、歴史と文化資源の保存・継承と有効活用を図ります。</p>	<p>①-1 指定文化財の保護、未指定文化財の<b>情報収集</b>と調査、古文書資料整理等を行い、貴重な歴史資料を後世に継承します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料の価値を再認識する機会を創出するため、外部からの資料調査依頼に協力</li> <li>・貴重な歴史資料の保存と活用を図るため、古文書資料の収集と目録作成・解読などの整理作業を実施</li> <li>・古文書資料の整理作業や解読に携わる人材の育成のため、古文書講座を開催</li> <li>・未指定文化財の所在調査を実施し、重要なものについては文化財審議委員会に諮り指定文化財に指定して保存と活用を図る</li> <li>・所蔵資料の歴史的価値の重要性について周知するため、歴史資料の所蔵者や関係団体と連携</li> </ul>	
	文化財について、学校教育や観光等への活用の幅を広げていくための検討が必要		<p>①-2 地域の歴史や文化、郷土への理解を深めるため、より身近なテーマから専門性の高い内容まで、多様なニーズに対応した学習機会を提供します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会等の開催</li> <li>・郷土の歴史資料や文化財の実物を見学する機会を創出するため、歴史資料館や歴史郷土館を活用</li> <li>・専門的なテーマに対する理解や関心を高めるため、宍粟学講座や企画展示を開催</li> <li>・地域の歴史や文化財の紹介を通じて郷土への誇りや愛着心を醸成するため、職員派遣による出前講座の開催</li> </ul>	
	伝統芸能保存団体の後継者の確保・育成が必要		<p>①-3 関係機関等と連携して歴史や伝統文化の保存、継承に取り組むとともに、文化財等について学校教育や観光振興への活用を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が主体の郷土史学習や地域学習の実施に際し、文化財担当職員を出前講座に派遣</li> <li>・全国規模のイベント参加による宍粟の歴史についてPR</li> <li>・指定文化財の所有者に保存修理に関する経費の補助を行ない、指定文化財の保存継承を支援</li> <li>・山城復活プロジェクトと連携し、主要な山城の説明板に多言語QRコードを設置して外国人観光客を誘致</li> <li>・文化財や史跡を着地型観光の貴重な資源と捉え、その魅力を伝え観光客をサポートする「まち歩きガイド」の養成や、スキルアップ講座によりガイドの継続的な活動を支援</li> </ul>	
	学校教育や観光等への活用の幅を広げていくための検討が必要		<p>①-4 <del>伝統技術や歴史を継承する支援を行います。</del> ※①-3と②-3の内容と重複しているため、削除</p>	<p>①-4 歴史的・文化的に関連が深い地域との連携を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との交流を図るため、兵庫県立歴史博物館と連携した、たたら製鉄など宍粟の特徴的な歴史遺産に関するシンポジウムや講演会等の開催</li> <li>・西播磨ツーリズム振興協議会との連携により、西播磨地域の山城復活プロジェクトを展開し、御城印の発行などで歴史やトレッキングに興味のある観光客の周遊を図る。</li> </ul>
	団体の後継者の確保・育成が必要		<p>②<b>地域の文化・芸術活動の推進</b> 地域の特性や文化・芸術資源を生かし、市民が文化・芸術に触れる機会の創出と主体的に活動できる環境づくりに努めます。</p>	<p>②-1 文化・芸術活動の発表の機会や場所を提供します。</p> <p>②-2 近隣市町との連携も含め、文化・芸術活動グループや団体について、交流による情報交換や課題の共有を促進するなど、持続可能な組織づくりに向けた取組を支援します。</p> <p>②-3 文化財や伝統芸能などの保存について支援するとともに、次世代に継承するための人材育成に取り組めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化展・美術展などを実施</li> <li>・各地域でのイベントと共催し、発表機会を創出</li> <li>・情報交換をする場(西播磨文化協会連絡協議会主催の文化交流会、各種文化・芸術イベントへの参加)</li> <li>・ホームページ等を通して、宍粟市の歴史文化遺産等の情報を発信し、関連する文化財との調査研究等の機会を創出</li> <li>・定住自立圏域(2市2町)が連携して実施する歴史資料の展示会を通じた広域的な情報発信</li> <li>・伝統民俗芸能保存団体の活動経費の補助を行ない、担い手となる人材の育成と伝統芸能の継承を支援</li> </ul>

後期基本計画基本施策別一覧表

<b>基本施策24 文化・芸術活動の推進</b>	<b>めざす まちの姿</b>	郷土の歴史・文化を学び、地域との結びつきや価値を見出すことで、ふるさとへの誇りと愛着を持つとともに、国際交流による異文化への理解を深め、伝統と豊かな文化に息づいたまちをめざします。
--------------------------	---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

現状	課題	個別施策の方向性 【(★)は総合戦略に関連する取組】	主な取組	主な取組に対する具体的内容の例示
			<p>②-4 宍粟市の歴史や伝統、文化等に関する情報を市外に発信していくとともに、市外の方との文化芸術活動を通じた交流の活性化を図ります。</p> <p>※①-3、②-2の内容と重複しているため、削除</p>	
	外国人が暮らしやすい環境づくりが必要	<p>③多文化共生と国際交流活動の推進 異文化を理解し、文化の違いを尊重する多文化共生の地域づくりに向け、多様な交流活動を促進するとともに、外国人が安心して生活できる環境づくりを推進します。</p>	<p>③-1 国際交流協会の活動を支援するとともに、協働により外国人市民同士の交流や、市民と外国人との交流など多様な交流機会の確保に努めます。</p> <p>③-2 異文化に対する相互理解を深める交流の場を提供するとともに、外国人が住みやすい環境づくりに努めます。</p>	<p>宍粟市国際交流協会補助金の支出並びに協会事業として市民、文化芸術団体、外国人支援団体、市内外国人、地域企業、学校等の協働により国際ふれあいまつりを実施</p> <p>・外国の文化等に触れることのできるお茶ツトルームの実施 ・外国人が住みやすい環境づくりに向けた日本語教室の実施</p>

まちづくり指標	指標名	単位	現状値(R2実績)	目標値(R8)	数値の把握方法	目標値設定の考え方
	文化芸術施設入場者数	人/年	96,611 (H30実績)	97,200	担当課保有の管理台帳 (山崎文化会館、宍粟市歴史資料館、山崎歴史郷土館、波賀城史蹟公園、たたらの里学習館の入場者数)	過疎化や少子化などの影響により人口減少傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がなかった平成30年度実績値(96,611人)を基準に年間で約100人の増加を目標とする。
	市指定文化財件数	件	115	124	担当課保有の管理台帳(年度末)	文化財への指定には、文化財審議委員会での審議が必要であり、年間で1・2件程度の指定が現実的であることから、概ね年間1.5件の増加を目標とする。
	外国人との交流イベント参加者数	人/年	483 (R1実績)	573	国際交流協会が行う交流イベントの集計	現状値からの大幅な増加は困難であることからR1実績値(483人/年)を基準に年間15名の増加を目標とする。
	宍粟学講座受講者数	人/年	234	269	担当課保有の管理台帳	過疎化や少子化などの影響により人口減少傾向にあるが、現状値を基準に毎年5人以上の増加を目標とする。

個別連計画	計画名	計画期間
	宍粟市社会教育振興計画	H29～R3
	宍粟市男女共同参画プラン	R2～R11

統計等数値
●芸術文化施設入場者数(人): (H26)107,120、(H27)101,210、(H28)98,910、(H29)90,040、(H30)96,611、(R1)86,931、(R2)36,413